

プリンス

オフィシャルディスク・
コンプリートガイド

KID

My Name Is

プリンス公式発表作品

全99タイトル
を精緻にレビュー!!

マイ・ネーム・イズ・プリンス!

PRINCE!

膨大かつ変幻自在なプリンス楽曲群へのゲートとなる、

入門書にして決定版

特別対談

Kダブルシャイン
×KID収録!

プリンス
オフィシャルディスク・コンプリートガイド

K I D

星海社

225



SEIKAISHA
SHINSHO

プリンス、デビューまでの軌跡

1958年6月7日、ミネソタ州ミネアポリスで生まれたプリンス。本名はプリンス・ロジャーズ・ネルソンで、ジャズ・ピアニストであった父ジョン・L・ネルソンのステーション・ネームから付けられました。

1966年に両親が離婚。ジョンが家を去ったあと、母マティは再婚しますが、新しい父親とは馴染めず、荒れる事もあったと言われています。決して良い境遇ではありませんでしたが、1970年にミネアポリスで起きた学校の先生達によるストライキについてインタビューに答えるプリンス(当時の愛称「スキッパー」)少年は、「(僕は)もつといい教育を受けるべきだと思うんだ。それに、先生たちは僕たちのために頑張ってるから、もつとお金をもらうべきだと思う」と、11歳にして社会全体の問題を冷静に捉え、すでに「プリンス」の風格を漂わせていました。

プリンスが影響を受けた多くのアーティストたち

影響を受けたアーティストについて、1997年の『ミネソタ・マンスリー』紙のインタビューで、学生の頃は地元のラジオKQRSを一晚中聴き、カルロス・サンタナ、マリア・マルダー、ジョニ・ミッチェルなどを知り、サンタナやボズ・スキャッグスのように演奏しようとしていたと語っていました。また別のインタビューでは、ラリー・グラハムやフリートウッド・マックなど、様々なアーティストを見て育ったとも話しています。

マルチミュージシャンへと進化

プリンスは人種やジャンルを問わず多くのアーティストからエッセンスを吸収し、自身のスタイルを確立するため驚異的なスピードで様々な楽器を独学で習得しました。このことについてプリンスは、1985年の『ローリング・ストーン』誌で「僕がミュージシャンを使わない理由は、僕の作業（レコーディング）時間と関係があるんだ。こんなことを言うのはおこがましいけど、僕ほど長く起きていられる人間は周りにはいない。音楽が僕を目覚めさせてくれるんだ」と、枯渇することなく溢れ続ける音楽を形にするために、たった一人で全てのパートを演奏することができる術を体得した経緯について語りました。

バラエティに富んだ作品集

常人の考える枠をはるかに超えたペースで音楽を生み出すため、そのスピードや方針についていけずにバンドを去る者もありました。また自分の中の音楽を再構築するため、自らバンドの解体を選択する事もありました。リリースごとに万華鏡のように変化する作品は、リスナーをも置いてけぼりにする勢いで、時に咀嚼するまでに時間を要する事もあり「時代の先に行く」という表現で語られる事もありました。

また時代を敏感に捉えた歌詞にも注目。個性的な衣装やセクシナルな歌詞で注目を浴びましたが、当時の大統領を名指しで批判する反戦ソングを始め、人種差別、LGBTQなどポリティカルなメッセージ・ソングも多数発表。2021年にリリースされた未発表作『Welcome 2 America』はリリースから約10年前に制作されたとは思えないほど、現代にも通じる問題を反映した歌詞が話題を呼びました。

既成概念（レーベル）との戦い

常に時代の先を行くプリンスは、アーティストとしての地位向上にも多くの労力を注ぎます。2004年に行われたロックの殿堂で「私がこの音楽業界に入ったばかりの頃、最

も重視していたのは「自由」でした。プロデューサーする自由、レコードですべての楽器を演奏する自由、言いたいことを何でも言える自由。そして交渉の末、ワーナー・ブラザーズ・レコードがその自由を認めてくれた。そのことに感謝しています」と、自身の強い意志と、それを認めてくれたワーナーに対し感謝の意を表しました。

この時、アウトキャストとともにプレゼンターとして登場したアリシア・キーズは「ただ一人、制限に逆らい、当たり前前のことを、ゲームのルールをすべて覆した、神秘的な人」と、既成概念と戦ったプリンスを称賛しました。

絶対的な才能をアピールし、ワーナーという巨大なメジャー・レーベルからセルフ・プロデューサーでデビュー・アルバムをリリースさせた時点で戦いは始まっていました。当時レコード会社が原盤権を所有する契約を結ぶと、プリンスほどのアーティストでさえ自身自身のタイミングを優先させることは困難で、レーベルに委ねるしかない事がほとんどでした。この原盤権を巡り、自分が作った音楽は自分のもの”として作品の権利をめぐってレーベルと戦い、2014年にその権利を勝ち取ります。レーベルが原盤権を持つ事は営業的にも流通の上でも有効なケースもありますが、近年でもテイラー・スウィフトがビッグ・マシン・レコードから移籍する際に闘争している例からも、アーティストの権利を守

る戦いは今なお続いています。

イノベーター (npg music club など)

メジャー・レーベルから離れたプリンスは流通方法を模索。インターネット黎明期の1990年代にはいち早くオンラインストアを開設。2001年には年会費100ドルで毎月新曲をはじめとする貴重な音源を配信するサブスクリプションサービス¹の先駆け、² *music club* (npgmc) を開設しました。また、当時異例だったライブ・チケットにアルバムを付けたり、アルバムを丸ごと雑誌の付録にしたり、一般流通を通さずファンの手売りま³ で実現するなど、常に “どうやって自分の音楽をファンに届けるか” を考えていました。

多くのアーティストに影響を与えたプリンス

プリンスは新しい才能を見出すことにも熱心で、常に周りのアーティストを気にかけて、まだ世に広く知られていない若い才能（特に適正に評価されない女性）に着目し、共演やインタビュー、SNSでその名を挙げることで、 “プリンスが注目したアーティスト” として紹介。キャンデイス・スプリングス、ジャーナル・モネイ、リゾ、シデイベなど後に頭角

をあらゆる多くの才気溢れるアーティストがその恩恵にあずかっています。また、クエストラブ、ベック、ファレル・ウィリアムス、ブルーノ・マーズ、ザ・ウィークエンド、ディアンジェロと錚々たるプリンスフォロワーも数え上げるときりがないほど多く、レジェンドのミック・ジャガーも度々プリンスの名を挙げています。

私をはじめプリンスに触れたのは彼の声。中学生の頃に聴いていたラジオから流れてきた「I Wanna Be Your Lover」を耳にして、一瞬で心を奪われてしまいました。彼の美しいファルセットに魅了されて近所のレンタル・レコード店でアルバム『愛のペガサス』を借りたことが、結果的に先の見えない迷宮への第一歩でした。

プリンスの作品はアルバム、映画、ミュージック・ビデオ、ゲームと様々なメディアで毎年のように発表され、さらにプリンスが手がけたいわゆるプリンス・ファミリーまで含めると迷宮のエリアは何倍にも膨れ上がりました。迷宮を探検するのは楽しい旅でした。その楽しみ方を広く紹介したい、仲間とつながりたいという想いから、1999年にプリンスと彼が手がけたアーティストの作品を紹介するNPG Prince Siteというファン・サイトを「K I D」の名前で開設し、現在に至ります。

近年、サブスクリプションサービスやYouTubeなどを通じてプリンスの音楽に触れる機会は増えたと思います。しかし、それだけでは足りないと言います。音や映像だけではわからない、リリースされた頃の時代背景や世界観、裏ではなにが起きていたのかなど、アルバムを通して聴くことでアーティストが訴えたいことを読み解くお手伝いがしたい——そんな想いから本書を『オフィシャルディスク・コンプリートガイド』と銘打って、みなさんへお届けします。オフィシャルディスクを網羅することで、特にプリンスについて知らない人には、彼を理解する、興味を持てる、またすでにある程度ファンの方にはオフィシャルディスクのレビューをまとめて読むことにより、一層プリンスを知ることができ、そして長年のファンの方たちにもあらためてプリンスの素晴らしさを伝えられる、それらの一助になれば幸いです。

それではワン&オンリーの天才、プリンスの創作世界をどうぞお楽しみください。

3 はじめに

13 PART.1

ALBUMS BEFORE 2016

175 PART.2

LIVE BEST COMPILATION NPG (THE NEW POWER GENERATION)

237 PART. 3

ALBUMS

AFTER 2016

291 PART. 4

FILMS

VIDEO

GAME

325 語り継ぐべき孤高の天才、プリンス

特別対談 Kダブシャイン × KID

345 おわりに

350 参考文献

レビューページの見方

レーベル名

初出のレーベル名を掲載しています

発売年・月・日

オリジナル盤(US)の発売年月日を掲載しています

アーティスト名

アルバム名

<p>「ワンド」の創立者で、1976年に二人は出会い、ここでレコーディングのテクニックを学びながら <i>OS 04 B</i>などを制作し、来るべきデビューへの準備を進めます。</p> <p>そして3人目はオーウェン・ハズニー。1978年、クリスの協力を得た姉のシャロンが住むニューヨークにデモ・テープを携えて赴きますがアリンが望む結果は得られずに帰郷。マネジメン能力が必要だと痛感したことからクリスを介して出陣します。</p> <p>アリンスの才能と情熱に惚れ込んだオーウェンは資金を与え、再チャレンジのために後に「レヴューエディション」のメンバーとなるボビー・Zの兄デヴィッド・Zと一緒にミネアポリスのサウンド80スタジオで「Make It Through the Storm」(未発表曲)を含む楽曲を再録すると高曲な宣伝用冊子</p>	<p>For You</p> <p>Prince 1979年4月27日 Paisley Park</p> <p>as: For You as: So Slow as: Soft And Wet as: Crazy Sex as: Love As Long As We're Together as: Baby as: No One Is Forever as: So Blue as: For You</p> 
<p>を制作し、A & Mとワーナーなど多くのレーベルと接触。交渉の末に19歳の誕生日直後の1977年6月24日、遂にアリンはワーナー側からトミー・ヴァカリをエグゼクティブ・プロデューサーとして参加させるという条件付きで、作曲・演奏・その全てを自らプロデュースしたアルバムを制作する、という、当時異人では超絶聞の契約と小切手を勝ち取りました。</p> <p>制作に関してアリン側は慣れ親しんだミネアポリスでのレコーディングを希望しましたが、設備面とスケジュールが折り合わず、カリフォルニア州サウサリート・プラントで10月から開始。翌年1月からはロサンゼルスのカウドラボに移動しオーバードビングとミキシングが行われました。</p> <p>2019年に発刊された『The Beautiful Ones』</p>	<p>1972年、14歳のアリンスは新しい父親に馴染めず家を飛び出します。友人のアンドレ・アンダーソン(後にアストロ・シモンとしてバンドに参加)の家に居候すると、彼の家でギター、ベース、ピアノなど様々な楽器をマスターしバンド、グラント・セントラルを結成し、音楽にのめり込んでいきます。</p> <p>この時期アリンスは3人のキーマンと出会うこととなります。1人目はベベ・ウイリ。ミュージシャンでプロデューサー、そしてアリンスの従姉妹の夫。ミネアポリスに移り住んだベベは1975年に空想を結成するとアリンズとアンドレを誘います。二人はここで作曲や演奏技術に磨きをかけました。</p> <p>2人目はクリス・ムーン。クリスはサウス・ミネアポリスの8トラック・スタジオームーン・サ</p>

収録曲名

オリジナル盤の収録曲名を掲載しています

ジャケット

オリジナル盤のジャケットを掲載しています

*当ページ表記以外に、ライブ盤、ベスト盤、コンピレーション盤、映画、ビデオ等の表記は当該作品の表記に準じて掲載しております

*コラム「併読・併聴のススメ」に記載のマークはそれぞれ以下を表しております。



…本



…楽曲



…映像



Prince
Official
Disc
Complete
Guide

PART. 1

ALBUMS

BEFORE 2016

For You

フォー・ユー

Prince

1978年4月7日発売
Warner Bros.

01. For You
02. In Love
03. Soft And Wet
04. Crazy You
05. Just As Long As We're Together
06. Baby
07. My Love Is Forever
08. So Blue
09. I'm Yours



1 972年、14歳のプリンスは新しい父親に馴染めず家を飛び出します。友人のアンドレ・アンダーソン（後にアンドレ・シモンとしてバンドに参加）の家に居候すると、彼の家でギター、ベース、ピアノなど様々な楽器をマスターしバンド、グラランド・セントラルを結成し、音楽にのめり込んでいきます。

この時期プリンスは3人のキーマンと出会うこととなります。1人目はペペ・ウィリー。ミュージシャンでプロデューサー、そしてプリンスの従姉妹いとこの夫。ミネアポリスに移り住んだペペは1975年に94イーストを結成するとプリンスとアンドレを誘います。二人はここで作曲や演奏技術に磨きをかけました。

2人目はクリス・ムーン。クリスはサウス・ミネアポリスの8トラック・スタジオ「ムーン・サ

「バンド」の創立者で、1976年に二人は出会い、ここでレコーディングのテクニックを学びながら**03. 05. 06. 07.**などを制作し、来るべきデビューへの準備を進めます。

そして3人目はオーウェン・ハスニー。1978年、クリスの協力を得て姉のシャロンが住むニューヨークにデモ・テープを携えて赴きますがプリンスが望む結果は得られずに帰郷。マネジメント能力が必要だと痛感したことからクリスを介して出会います。

プリンスの才能と情熱に惚れ込んだオーウェンは資金を与え、再チャレンジのために後にザ・レヴォリューションのメンバーとなるボビー・Zの兄デヴィッド・Zと一緒にミネアポリスのサウンド80スタジオで「Make it Through the Storm」(未発表曲)を含む楽曲を再録すると高価な宣伝用冊子

を制作し、A & Mやワーナーなど多くのレーベルと接触。交渉の末に19歳の誕生日直後の1977年6月24日、遂にプリンスはワーナー側からトミー・ヴァカリをエグゼクティブ・プロデューサーとして参加させるという条件付きで、作詞、作曲、演奏。その全てを自らプロデュースしたアルバムを制作する”という、当時新人では超難関の契約と小切手を勝ち取りました。

制作に関してプリンス側は慣れ親しんだミネアポリスでのレコーディングを希望しましたが、設備面とスケジュールが折り合わず、カリフォルニア州サウスリートのレコード・プラントで10月から開始。翌年1月からはロサンゼルスサウンド・ラボに移動しオーバーダビングとミキシングが行われました。

2019年に発売された『The Beautiful Ones』

には本作の収録リスト10曲が書かれたメモが掲載されており、最終的に残ったのは、約1分という短い曲ながらプリンスの柔らかなファルセットが幾重にも折り重なる多重録音のコーラスをバックに“この全てをあなたのために／愛と誠意と心を込めて／私の人生をあなたと共に”と、ここから歴史に残る数多くの名曲を届ける事が出来る喜びを噛みしめるに十分過ぎるタイトル・トラックの**01.**、1976年夏にクリス・ムーンと共作したペーシック・トラックをアルバム・リリースに向け何度も歌詞を変更し再録を重ねた1曲で、ビルボード誌のホット100チャートで92位、さらにソウル・チャートで12位を記録したデビュー・シングル**03.**、そしてセクシーでドラマティックな歌詞に美しいファルセット・ヴォイスというバラードの原型とも言える楽曲で、憧れのパトリース・

ラッシュエンにストリングスの書き方についてのアドバイスを得てブラッシュアップした**06.**の3曲が採用されました。

その他、当時のディスコ・サウンドと粘るようなファンクのグルーヴを上手くブレンドしたサウンドと若きプリンスの恋心を綴った歌詞がなんと可可愛い**02.**アコースティック・ギターを弾きながら愛を囁く**04.**1977年のプレス・キットの制作時に収録された楽曲でアルバム用にリファイされた2ndシングル**05.**キャッチーなメロディとストレートなラブ・ソングで後半のギター・ソロも素晴らしい**07.**ジョニ・ミッチェルの「Hejira (逃避行)」にインスパイアされたとされる**08.**ラストはヴォーカルよりギターやドラムに軸足を置いたフュージョン色の濃い**09.**と、若き才能が遺憾無く発揮されました。

アルバムは完成しますが、完璧主義ゆえに最初の3枚のアルバムの制作に18万ドルの予算のほとんどを使い果たした(一説にはスタジオ代として17万ドルが計上された)と言われています。こうして世に放った自信作でしたがセールス的にはソウル・チャートでは21位、ビルボード・TOP200では163位と思惑通りにはいかなかったようです。日本でのデビューは次作を待つこととなります。

余談ですが、ワーナーは契約を祝うためのパーティを1977年6月25日に開催。重役と話すのが苦手なプリンスに対し、デヴィッド・Zはパーティ用の曲を作ることを提案。プリンスは両者の関係を恋心に置き換えて書いた「I Hope We Work It Out」を披露しましたが、そのラストは爆発音で幕を閉じるという、後の関係を暗示する様な楽曲でした。

『Minneapolis Genius』

94 イースト



ペペ・ウィリー率いる94 イーストにアンドレ・シモンとレコーディングに参加。本作は『Purple Rain』のヒットに便乗する形でリリース。「Just Another Sucker」はプリンスとペペの共作、ほかにもギター、ドラム、キーボード、シンセと複数の楽器で参加。

『THE BEAUTIFUL ONES プリンス回顧録』

プリンス(著)、ダン・パイペング(編集)、
押野素子(翻訳)



2016年、プリンスは自伝の執筆に取り掛かったが完成する事なくこの世を去った。本書はコラボレーターとして指名していた米誌ニューヨーカーのライター、ダンによる回想録という形で2019年に出版。貴重な写真やメモを多数掲載。

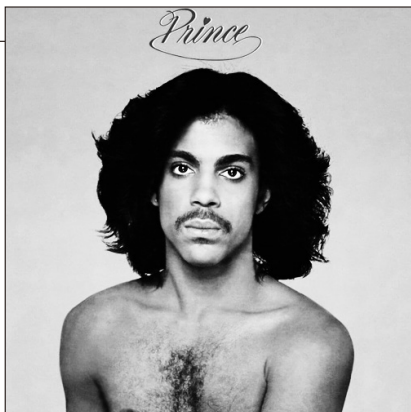
Prince

愛のペガサス

Prince

1979年10月19日発売
Warner Bros.

01. I Wanna Be Your Lover
02. Why You Wanna Treat Me So Bad?
03. Sexy Dancer
04. When We're Dancing Close And Slow
05. With You
06. Bambi
07. Still Waiting
08. I Feel For You
09. It's Gonna Be Lonely



ワ
ーナーとの契約で大金を手に入れたプリン
スは、1977年型ベイベー・ブルーのダ
ットサン2000SXを購入し、ミネアポリス南
西に位置するフランス・アヴェニュー・サウス5
215番地に家を借ります。この家にはガール・
フレンドと住み、地下には8トラックの録音機と、
シンブルながらホーム・スタジオを作り、好きな
時間にレコーディングができる環境を手に入れま
した。

順風満帆と言いたいところですが、多額の資金
を投入して制作された『For You』はセールスのに
ふるわずワーナー側からは不満の声が聞こえ、マ
ネジメントを請け負っていたオーウェン・ハスニ
ーとも仲違いし解雇するなど厳しい状況に陥りま
す。この重い空気をいち早く打開すべく、プリン
スは“制作費を抑えて前作以上のものを作る”と

いう課題を自分自身に課します。

制作に集中するためエグゼクティブ・プロデューサーを外すと、1979年4月からカリフォルニア州バーバンクにあるアルファ・スタジオでレコーディング、途中ロサンゼルスハリウッド・サウンド・レコーダーズでオーバーダブとミキシング作業を行います。経費がかさむことがわかった、1979年9月にフランス・アヴェニューを離れ、ミネトンカ湖の北側に位置するオロノ市の郊外にあるノース・アーム・ドライブ680番地の広い家に引っ越して機材を持ち込み、ミックス作業を継続。約6週間という短期間で作詞・作曲・演奏・アレンジ・プロデュースを全て一人でこなすという驚異的な才能を見せつけます。

アートワークは水色のシンプルな背景とフォント、そして上半身裸で正面から見つめるプリンス

の“包み隠さず真摯に向き合う姿勢”を全面に押し出して^{おもて}いる表面に対して、背面はペガサスに乗るといふファンタジー要素のギャップも演出。

今作のアートワークを担当したユルゲン・ライシュは数多くの写真を撮影し、レザー・ジャケットを着た写真の1枚はブックレットに掲載。その一部は後に2019年にリリースされた「Feel For You (Acoustic Demo)」のアートワークとしても使用されました。“女性絡み”というプリンスらしいキーワードで、今作には2人の女性の存在が大きく絡みます。

1人目はパトリス・ラッシュエン。プリンスは彼女の大ファンで『For You』収録の06.では彼女からストリングスのアドバイスを受けるほど信頼していました。本作には彼女に提供するつもりでしたが断られてしまった2曲を収録しています。

1曲目はマイケル・ジャクソンの「Don't Stop 'Til You Get Enough」やドナ・サマーの「Bad Girl」などディスコ・サウンドの流れをくむ4つ打ちビートかつ12インチ・ミックスを想定したような6分に及ぶリード・シングルで、ディスコ・チャート2位、ソウル・チャートで初の1位を獲得したプリンスを代表する1曲の**01**。そして、1984年にチャカ・カーンによるカバーが大ヒットし、翌年のグラミー賞で最優秀女性R&Bヴォーカル・パフォーマンスと最優秀R&Bソング（受賞者はプリンス）の2冠を受賞した**08**。また、コーラス程度の短い歌詞のダンス・ナンバー**03**で聴かれるシンセ・サウンドにはパトリースの影響を感じ、パトリース側も1982年にリリースした「Forget Me Not」に**01**の影響を感じます。

2曲目はキム・アップシャー。冒頭に書いた家

で同棲していたガール・フレンドですが後に破局。2nd・シングル**02**は少々攻撃的な歌詞なので献身的だったキムに対して向けられたものではないかもしれませんが、感情をそのまま綴った曲で、3rd・シングルの**07**やラストの**09**も、愛するキムからふられてしまった悲しみを綴ったと思われる失恋ソング。逆にプリンスの愛情が溢れている**04**はシャイなプリンスらしい恋心を綴った楽曲で、ジル・ジョーンズがカバーした事でも知られる**05**など、彼女の存在が少なからず歌詞に影響を及ぼしている楽曲だろうと想像できます。

キムとの恋は破局を迎えましたが、ザ・タイムの「What Time Is It?」のバック・コーラス（未クレジット）や映画『パープル・レイン』でモリスからチップをもらうウエイトレスの役で出演するなど友情は続きます。しかし、2015年11月

19日に惜しまれながら逝去してしまいました。

同じ恋愛でも異彩を放つのが同性愛の女性に振り向いてもらおうとアプローチする06.で、作中唯一のロック・ナンバーでプリンスのお気に入り1曲。後年エホバの証人に改宗し、きわどい歌詞の曲はライブのセットリストから外す中でも、この曲は歌い続けました。サウンド面は前作の延長線上に位置すると言えますが、テクニクを駆使し仰々しい印象を与えた前作への反省を活かし、余分な音数を削ぎ落とし、シンプルかつシャープな音作りを実現しました。セールの的にもビルボード・チャート22位、ソウル・チャート3位をマーク。自身初のプラチナ・ディスクを獲得し、少ない制作費でヒットを出す”と自身に課した目標を見事に実現しました。

併読・併聴のススメ

『I Feel For You』

チャカ・カーン



1984年にリリースされたチャカ・カーン5枚目のアルバム。プリンスのカバー曲「I Feel For You」はビルボード・チャート3位、R&Bチャート1位を獲得。翌年のグラミー賞で最優秀女性R&Bヴォーカル・パフォーマンス、最優秀R&Bソング（受賞者はプリンス）を受賞。

『I Feel for You (Acoustic Demo)』

プリンス



『THE BEAUTIFUL ONES プリンス回顧録』の出版と本作の40周年を記念して2019年10月18日にリリースされたアコースティック・ギターによるデモ音源。

Dirty Mind

ダーティ・マインド

Prince

1980年10月8日発売
Warner Bros.

01. Dirty Mind
02. When You Were Mine
03. Do It All Night
04. Gotta Broken Heart Again
05. Uptown
06. Head
07. Sister
08. Partyup



プリンスは『Prince』をリリースすると早速ツアーに必要なバンド・メンバーを集め始めます。早い段階から黒人アーティストという枠を脱したいと考えていたプリンスは、より多様な層に聴いてもらうため、スライ&ザ・ファミリア・ストーンののような人種性別混合バンドを目指し、アンドレ・シモン (Org)、デズ・ディツカソン (Org)、ボビー・Z (B), Dr.フィンク (Key)、ゲイル・チャップマン (Key) で結成。初のツアーを11月から翌年2月まで行い、終了すると今度は同時期にデビューしたリック・ジェームスのサポート・アクトとして10週間の全米ツアーに参加します。

ツアー中もプリンスは手を休めることなく、1980年5月にリックとのツアーが終了するとすぐにミネトンカ湖畔に借りていたノース・アーム・

ドライブ680番地の地下室でレコーディング。6月にはロサンゼルスにあるハリウッド・サウンド・レコーダーズでミックスを終え、前作からわずか1年後の1980年10月にアルバムをリリース。細かな作業はロサンゼルスで行いましたが、本作がミネアポリスで録音した最初のアルバムとなります。

バンド形態は作品にも影響。前作までは全て一人で行うという戦略をとっていましたが、今回はDr.フィンクやリサ・コールマンらメンバーが演奏や作曲にクレジットされ、ブックレットにも写真を掲載。アートワークは写真家のアレン・ポリーユの案で廃品置き場から使い古されたボックス・スプリングを買い取りスプリングの前で撮影するアイデアで前作との違いを表しています。

サウンドは前作までに確立したファンキーなダ

ンス・サウンドを残しつつもニュー・ウェイヴとロック色を強め、単なるR&Bシンガーではないことを表現。一方、歌詞はラブ&セックスがさらに過激に加速。精神性と政治的メッセージもプラスされ、プリンスの方向性を決定づけたアルバムと言えます。

オープニングを飾る01は、リハーサルで弾いたDr.フィンクのコード進行から生まれた曲で、プリンスはリハ終了後に自宅スタジオにフィンクを呼び、録音していた音源を聴かせ深夜までレコーディングに取り組み、翌朝にはきわどい歌詞のヴォーカルやギターなどを加えたデモ音源を聴かせ、「これが3作目のタイトルトラックになるよ」と言ったとか。

シンディ・ローパーのデビュー・アルバムにカバーとして収録された失恋ソングの02は、フィ

ンクによれば1980年のリック・ジェームズとのツアー中のフロリダでバンド・メンバーが遊びに行っている間にホテルの一室で書かれた曲。

一転して、「一晩中君と愛し合いたい」と歌うストリートな歌詞が印象的なプリンス流ニュー・ウェイヴ風サウンドの03. スウィングする明るいサウンドと対照的に遠距離恋愛の女性に振られ捨て鉢になって最後はガシャーンというマイクの倒れた音で終わる04. の流れで前半を終えます。

第一弾シングルでビルボードのホット・ソウル・チャート5位となったファンク・ロックの05. は、以降の作品のテーマの一つとなる倫理観を問う歌詞で、偶然会った女性から「あなたはゲイなの？」と聞かれたプリンスは否定と共に彼女の事を「社会の犠牲者」と表現した上で「アップタウン」に連れていって楽しむという内容ですが、街の名は

ミネアポリスにある場所と、黒人も白人もプエルトリコ人も一緒に盛り上がる“人種の壁も無くマインドを解放できるユートピアという2つの意味が込められています。この曲の元となるベース・ラインはアンドレによるものですが、最終的にプリンス一人で作詞と演奏をしている事からクレジットはされませんでした。

見知らぬ花嫁とセックスするという過激でしかも最終的には彼女も惹かれるという歌詞の06. はツアー中に作られた楽曲で、ライブで演奏する際プリンスはゲイルとキスやオーラル・セックスのパフォーマンスをする事でオーディエンスを挑発しました。これが直接的原因でないとはいえ、ゲイルはリックのツアー後に脱退します。抜けた穴を埋めるべくプリンスはデモ・テープの歌声に感銘を受けた当時20歳のリサ・コールマンをオー

デイション。期待通りにこの曲を歌いこなしたりサは、新たなメンバーとして迎えられコーラスも担当しました。

過激な歌詞は更に続きます。07.では32歳の姉から16歳の弟への性教育といった内容を歌っています。プリンスには歌詞通り異母姉いぼしのシャロンがいて自伝的な歌詞とも受け取れますが、多感な少年が性に目覚める過程の妄想とも受け取れます。

「お前達は勝手にくそつたれの戦争で戦えよ、俺達は戦いたくない」と怒り、理想郷のアップタウンへ行こうと歌う反戦ソングの08.はファルセットから地声に声色を変える所でメッセージ性を高めた1曲。この曲のグルーブはモーリス・デイによるもので、楽曲を気に入ったプリンスは提供の交換条件に1万ドルかレコード契約の手助けを提示。メジャー・デビューを夢見ていたモーリスは、

レコード契約を選んだ事でライバル・グループ、ザ・タイム誕生へと繋がります。

トレンチコートにビキニパンツというファッションと過激な歌詞が一般受けせず、わずか50万枚と前作の約半分しか売れず、ビルボード・TOP 200で45位とセールス面では大きく後退する結果になりましたが、野心的で妥協しない世界観と、ヨーロッパで流行っていたパンクやニュー・ウェイヴをいち早く取り入れたサウンドはローリング・ストーン誌で星4.5の高評価を得ました。

前作の成功を踏襲することなく、常に新しいサウンドを追い求める姿勢。プリンスというアーティストの凄さを決定づけたアルバムと言えます。

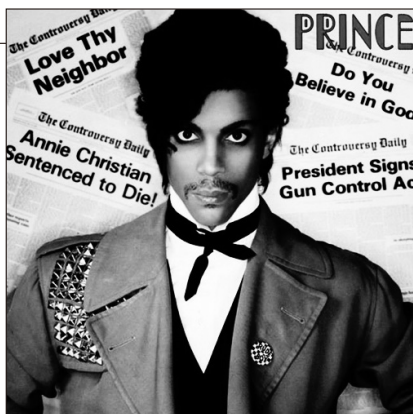
Controversy

群像の貴公子

Prince

1981年10月14日発売
Warner Bros.

01. Controversy
02. Sexuality
03. Do Me, Baby
04. Private Joy
05. Ronnie Talk To Russia
06. Let's Work
07. Annie Christian
08. Jack U Off



『Dirty Mind』リリース2ヶ月後の1980年12月から全米ツアーを行うと同時に次作の曲を書きながら、より良いコーディング環境を整えるためにミネアポリス郊外チャナッセンにあるライリー湖畔のキオワ・トレイル・ホーム・スタジオに引っ越すと、ほとんどの曲を一人でコーディング。最終的なミキシングはハリウッドのサンセット・サウンドで行われました。

露骨できわどい内容だった前作に対し否定的な声が上がりましたが、プリンスはそれを好機と捉えます。アルバムを「Controversy＝論争」と名付けると、アートワークはニューヨーク・タイムズに似たフォントを使った架空の新聞『The Controversy Daily』を創作。その紙面には「Love Thy Neighbor (隣人を愛せ)」「President Signs Gun Control Act (大統領が銃規制法案に署名)」、裏面には「Presid

ent Declares Uptown New U.S. Capitol (大統領がアップタウンを新連邦議会議事堂と宣言)」などに混じって敬愛するジョニ・ミッチェルを表す「★ Joni ★」を記載。プリンスは紙面をバックに「RUDE BOY
|| 不良少年」と描かれた缶バッジを胸に付け、対峙姿勢を表現しました。

ロサンゼルス・タイムズ紙のインタビューに「やりたいことがあれば、何をやっても許される事がわかった。自分の作りたいレコードを作って問題なく」と『Dirty Mind』が自信となった事を語ると、さらに推し進めた作品を制作しました。7分強に及ぶファンク・ロックの01.は自身に向けられる肌の色や性的指向(この頃ゲイではないかと言われた事も起因)といった様々な抑制や偏見に対して解放を訴える曲で、「主への祈り」も印象的。この曲は様々な悩みを持つ人達に共感を与え、「I Wa

na Be Your Lover] 以来となるホット・ソウル・チャート3位を獲得します。続く02.は「金も服も要らない/自分の体を解き放て」と説き、子育てに対しても「最初から悪い子なんていないよ/周りの環境を真似ているだけだ」と訴え、人種や宗教などへの偏見に対抗するには新しい人類の誕生と団結を望むと綴るメッセージ・ソング。改宗後は「Spirituality」と歌詞を変えて歌われました。

強烈な2曲の後には作中屈指の官能曲03.が登場。序盤はファルセットでしっとりとした歌い出しですが徐々にヒートアップ、途中から喘ぎ声が入り、終盤では地声で囁きかけるという巧みなヴォーカル・ワークも魅力的。メロディ・ラインの元はアンドレ・シモンによるものですが、プリンスが歌詞を付け完成させた時にはクレジットに記載されず、このつれない仕打ちに嫌気が差したアード

レは、アルバム発表前に脱退します。

作中最後に完成しサンセット・サウンドで録音された**04.**は、快樂を与える秘密のおモチャの事を言っているように恋人の事を歌っている様にも取れるダブル・ミーニング的な歌詞も魅力ですが、この曲では地声とファルセットのバランスが自然かつ、サウンドはファンク・ロックとニュー・ウェイヴのミックスで、プリンス・サウンドの特徴となるドラムマシン Linn LM-1 も大きなポイントです。ダブル・ミーニングと言えば**06.**で歌う「Work」は「さあ仕事をしよう！」という歌詞を成立させつつ、実際は「さあ愛し合おう」と解釈できる曲。セクシャルな曲に挟まれた**05.**は、当時ロシアと冷戦状態だった状況に対し、同年1月にアメリカ合衆国第40代大統領に就任したロナルド・レーガンを愛称のロニーと呼び「手遅れにな

る前にロシアと話せよ」と訴えるプロテスト・ソングを差し込むセンスもプリンスならではの。

アートワークに書かれた**07.**は、1980年12月8日に起きたジョン・レノン殺害事件、翌年3月に起きたロナルド・レーガン暗殺未遂事件、アトランタで起きた黒人児童連続殺人事件などに言及した曲で、語り口調のヴォーカルと狂気の世界を表現するサウンドは収録曲の中でも異彩を放ちます。

最後の**08.**はボビー・Z、マット・フィンク、リサ・コールマンのメンバー全員が揃った曲で、プリンス初の陽気なロカビリー・ソングですが、歌っている内容はド直球のエロティック・ソングで幕を閉じます。

アルバムが完成するとアンドレの代わりに別のグループで活動していた19歳のマーク・ブラウン

(ブラウンマーク)を勧誘。マークは全曲を覚えてオーディションに挑みましたが15分のジャムだけで見事合格。加入直後に訪れたのは1981年10月9日にロサンゼルスで行われたローリング・ストーンズの前座公演でした。

プリンス達はストーンズ・ファンからブーイングやゴミを投げられる手痛い洗礼を受けながら途中退場。説得され11日の公演に参加するも再び物を投げつけられ中止してしまいました。激怒したミック・ジャガーはオーディエンスに「彼がどれだけ凄いやつかわからないだろう!」と説教をずる事態に至りました。その後ミックは事あるごとにプリンスの曲を何度も紹介。2021年10月にミネアポリスで開催されたライブでは「Controversy」や「Purple Rain」をカバーしました。

併読・併聴のススメ

『The Time』

ザ・タイム



モーリス・デイとの約束を果たすため、ジミー・ジャム、テリー・ルイス、モンテ・モア、ジェリー・ピーン・ジョンソン、ジェシー・ジョンソンによるザ・タイムを結成させ、プリンスは、プロデュース、ソングライト、などほとんどの演奏をこなすが、関与を隠すために偽名で参加。

『Prince: Before The Rain』

アレン・ポーリュー



『Dirty Mind』や『Controversy』、『1999』など80年代初期のプリンスを撮影したミネアポリス在住の写真家アレン・ポーリューによる写真集。1981年10月に行われたローリング・ストーンズの前座の写真など貴重な写真を数多く掲載。

1999

1999

Prince

1982年10月27日発売
Warner Bros.

01. 1999
02. Little Red Corvette
03. Delirious
04. Let's Pretend We're Married
05. D.M.S.R.
06. Automatic
07. Something In The Water (Does Not Compute)
08. Free
09. Lady Cab Driver
10. All The Critics Love U In New York
11. International Lover



多

忙を極める中、プリンスを取り巻く環境は3人の女性によって大きく変化します。

1人目はデニス・クリステイーナ・マシユーズ。1980年に彼女と出会い付き合うと、ヴァニティという名前を与え、ヴァニティ6を結成させます。2人目はジル・ジョーンズ。Dirty Mind Tourの前座に参加したティナ・マリーのバックを務めていた彼女の才能に惚れ込み、1982年サンセット・サウンドに招きバック・ヴォーカルを依頼。そして3人目はリサ・コールマンの恋人だったウエンディ・メルヴォワン。1983年のデズ・デッカーソン脱退後にバンドに迎えます。

約4ヶ月に及ぶControversy Tourを1982年3月に終えると、キオワ・トレイル・ホーム・スタジオとハリウッドのサンセット・サウンドを行き来し、8月にリリースされるザ・タイムの2作

目と、ヴァニティ6のデビュー・アルバム、そして本作の3つのプロジェクトを同時にこなします。作曲はこれまで同様プリンスによるものがほとんどですが、バンドの才能を認めレコーディングに参加させる事も増えてきました。創作意欲に拍車がかかったプリンスはワーナーを説得し、初の2枚組アルバムを1982年10月にリリース。写真を使わない初のアートワークは、プリンスによるカラージュを形にしたもの。ギターや衣装の他に『Controversy』に付け加えた「RUDE BOY」のバツジ、後のバンド名となる「and The Revolution」の反転文字、プリンスを表す事になる♂♀を組み合わせたシンボルマークなどが描かれています。見開きで使われたネオンと煙の中に半裸のプリンスが寝そべる写真は同年6月に公開の映画『ブレード・ランナー』の未来的な雰囲気我希望したプリ

ンスの指示でアレン・ボーリユーが撮影したものの。1999年で世界が終わるとおびえる人々を脅かしながらも希望を与える第一弾シングル01は、尊敬するステイヴィー・ワンダーの「You Are the Sunshine of My Life」を参考にリサ&シル、デズ、プリンスとパートに分けて歌いハモる手法を採用。

第二弾シングルの02は、1964年式のピンのマーキュリー・マローダーの後部座席でヴァニティとイチャついて着想したとも、デビュー前に出会った女性にインスピレーションを得たとも言われる曲。女性を赤いスポーツカーに喩えるエロティックな歌詞と終始カメラ目線で歌い華麗なターンやスプリットを決めるMVがMTVで流れると人気に火が付き、初のチャート6位に。当時ハマっていたゲイリー・ニューマンとストレイ・

キヤッツ、ニュー・ウェイヴとロカビリーの影響を感じる**03.**は、ループするリンドラムとシンセ・ベースをバックに軽快に女性に翻弄される様さまを歌ったもので、こちらは8位を獲得。「結婚していることにしよう」という意味深なタイトルの**04.**は、女性との快楽を楽しむ内容。ラストには「神に恋してる」や「別の人生(世界)に行くけど君はどうする?」と説く哲学的な歌詞。1985年当時のCDの規格に収まらず再発まで未収録の**05.**は、シンプルながらグルーブ感溢れるファンクのリズムに乗せ、リサとブラウンマーク達のコーラスが入るパーティ・チューン。「やりたいのはD.M.S.Rで賞に興味はない」と歌い、ザ・タイムやヴァニティ6を手掛けた自身のペルソナ「ジェイミー・スター」を「盗人ぬすっとだ」と揶揄します。

さらに恋愛に対する行動原理をテーマにした曲

が2曲続きます。**06.**は欲望が自分の意思なのか予めプログラムされた行動なのかを描き、MVではリサとジルによるSM的な要素を入れてさらに混沌とした表現。**07.**は女心がわからない理由を脳内コンピューターで解こうとするも「Does not compute」計算できない」と嘆き「彼女達が飲んでい

る水に何か入ってるんだ」と複雑な女性心理を描いています。心臓の鼓動や規則正しい靴の足音のイントロから始まる**08.**は、心の痛みを理解した上で自由の国に生まれた事を理解し物事に対して前向きに考えようと鼓舞する讃歌で、ウェンディがレコーディングに初参加。後半の哀愁漂うギターはビル・ネルソンへのリスペクトを感じます。

息苦しい生活から逃げる様にタクシーを止め「どこでもいいからドライブしよう」と歌う**09.**は、ジル・ジョーンズ扮する運転手の女性が生活の為

ではなく楽しむためとわかった中盤から様相が一変。ライブではニューヨークの歌詞を開催地に変えて歌う事でも知られる10は、エッジの効いたリズムとギターで淡々と批評家への皮肉を。最後のニは、ザ・タイム用に制作しモリス・デイのヴォーカルも録音しますが自分のアルバムに転用。初期のアルバムではほとんどフルセットで歌っていましたが、本作では全声域を輝かせ、ラストのニでは、低音から突き刺すような叫び声まで感情豊かなヴォーカル・ワークとウィットに富んだ歌詞で悩殺されます。当初7曲入りの1枚でリリースされた地域もありましたが、蓋を開ければビルボード・チャート9位と最大のヒットを記録し、初のグラミー賞ノミネーションを掴みます。また、マイルス・デイヴィスは1989年に出版した本で本作を絶賛しました。

併読・併聴のススメ

『Vanity 6』

ヴァニティ6



恋人のデニス・マッシューズをヴァニティに改名させ、スーザン・ムーニーズとブレンダ・ベネットの2人を加えたガールズ・グループ、ヴァニティ6を結成。こちらは「The Starr ★ Company」名義で制作。

『What Time Is It?』

ザ・タイム



ザ・タイムの2ndアルバムで、こちらも「The Starr ★ Company」名義でクレジット。プリンスを脅かす存在に成長するが、ジャム&ルイスが別の仕事でライブに穴を開けた事でバンドを去る。2人はその後、ジャネット・ジャクソンなど数多くのアーティストを手掛けるプロデューサーとして成長。

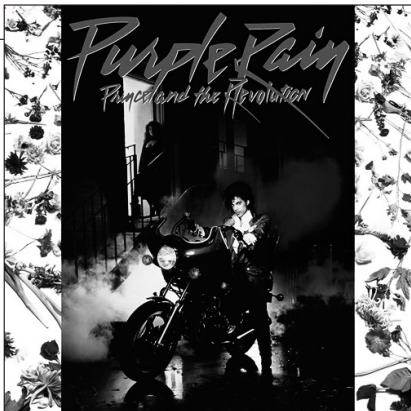
Purple Rain

パープル・レイン

Prince & The Revolution

1984年6月25日発売
Warner Bros.

01. Let's Go Crazy
02. Take Me With U
03. The Beautiful Ones
04. Computer Blue
05. Darling Nikki
06. When Doves Cry
07. I Would Die 4 U
08. Baby I'm A Star
09. Purple Rain



1 982年11月から翌年4月まで1999 Tour
を行う中、『1999』は売れ続けプラチナ・

ディスクを獲得。自分の価値を証明したプリンスは構想していた半自伝的な映画『パープル・レイン』を制作するためワーナーを説得。1984年7月26日にチャイニーズ・シアターでプレミア上映を開催。一般公開の約1ヶ月前となる1984年6月25日にリリースされたのが本作です。

プリンスに嫌気が差したデズがツアー後に脱退すると、かねてから才能を認めていたウェンディ・メルヴェオンを正式にメンバーとして迎え、劇中のバンドであるザ・レヴォリユーションを結成し、初のグループ名を冠したアルバムを制作。

レコーディングは1983年8月から翌年3月までという映画制作と同時進行で行い（シーラ・E、ザ・タイム、アポロニア6のアルバムも制作）、キオワ・ト

レイルや映画の舞台となったミネアポリスのファースト・アヴェニューでも録音されました。

アートワークはエド・スラッシュャーのもと、ロン・スレンザックが映画ポスター用に撮影したものを使用。LPサイズに合わせるためグラフィック・デザイナーのローラ・リピューマが両側にボタニカル柄を添えて完成しました。

ミサ曲の様なシンセ音とプリンスの説法から始まるロック・ナンバーの **01** は、映画撮影準備中のファースト・アヴェニューでデモ・バージョンを聴かせメンバーと一緒にライブ録音し、その後セント・ルイス・パークのザ・ウエアハウスで再録しアルバム用に仕上げられました。歌詞の中にある「エレベーター」は「悪魔」の比喻で、悪魔に引きずり落とされそうになったら立ち向かって高い階（神）を叩いて人生を切り切るといふもの。

劇中でヒロインのアポロニアがプリンス演じるキッドに騙され、湖に飛び込むシーンの後に流れるデュエット・ナンバーの **02** は、当初アポロニア6のオープニング・ナンバーとして考えられていた曲。最終段階で本作に収録され、その結果 **01** と **04** はショートバージョンになりましたがより素晴らしい選択に。

アポロニアをライバルのモーリスに奪われそうになるシーンで歌われる情熱的な **03** は、当時彼女だったスザンナ・メルヴォワンまたは元カノのヴァニティのこととも言われる曲ですが、映画のストーリーの通りアポロニアに向けたもの。ちなみにこのシーンでは『愛のペガサス』で書いた元カノのキム・アップシャーがウエイトレス役で登場、プリンスに好意を寄せていたジルも出演するという、劇中もリアルも複雑な恋愛模様です。

ウエンディ&リサによる怪しげな会話からスタートする**04.**は、プリンスの父ジョン・L・ネルソンとの共作「Father's Song」を内包した複雑に変化する楽曲で、狂おしいほどのギター・プレイも必聴。最終的に14分以上に及んだ長尺曲で12分にエディットされたテイクは、2017年のデラックス盤に収録。続けて、辛辣な言葉でアポロニアを泣かせる問題曲の**05.**は、レコードの逆再生に「Hello, how are you?」の隠された遊び心も。この曲は当時のゴア上院議員の娘が聴いていた事がきっかけで、未成年者に不適切と認定された音楽作品に全米レコード協会（RIAA）が添付するペアレンタル・アドバイザリー誕生の遠因に。劇場公開に先駆けてリリースされた**06.**は、プリンスにとって初の全米No.1ヒットに輝きました。一線を画すサウンドを求めベーシック・トラックか

らベース音をミュートした事でも知られる曲で、鳩が飛び交う浴室でバスタブから全裸のプリンスが四つん這いで近づく衝撃的なMVが日本でも何度も流れ、敬遠される元になったとも言われています。

後半の3曲はレコード・プラントから移動式のスタジオ、ブラック・トラックを借り1983年8月3日にファースト・アヴェニューで録音されたライブ音源を元にアルバム用にオーバーダビングし編集されたもの。

07.は暗い闇から抜け出し恋人のハートを射止めたプリンスの「君のためなら死ぬる」と究極の殺し文句と振り付けでぐっと心を掴まれるラブ・ソング。両性具有的な表現から罪人を許す神、そして**06.**に登場する平和の象徴「鳩へと変化していく歌詞のイマジネーションも豊かです。

間髪を容れずギアをトップスピードまで上げて疾走するO.B.は、この後に訪れる名声を予見する歌詞も最高で、当時のツアーでもラストを飾る曲。ジルのヴォーカルやリサの弟デヴィッド達のストリングスが華を添えます。最後を飾るO.B.は、「君を悲しませるつもりはなかった／紫の雨の中で君が笑っているところを見たかっただけなんだ」というフレーズが心に響く恋人への贖罪の歌です。ドラマティックなコード進行、とりわけラストのギター・リフレインは何度聴いても鳥肌ものです。映画の成功と共にアルバムはビルボード・TOP 200で24週連続1位と最大のヒット。グラミー賞で年間最優秀アルバム賞こそ逃しますが、最優秀作曲、最優秀ロック・パフォーマンス、さらにアカデミー賞の歌曲・編曲賞を受賞。この時を境にプリンスのイメージカラーはパープルとなります。

併読・併聴のススメ

『Ice Cream Castle』

ザ・タイム



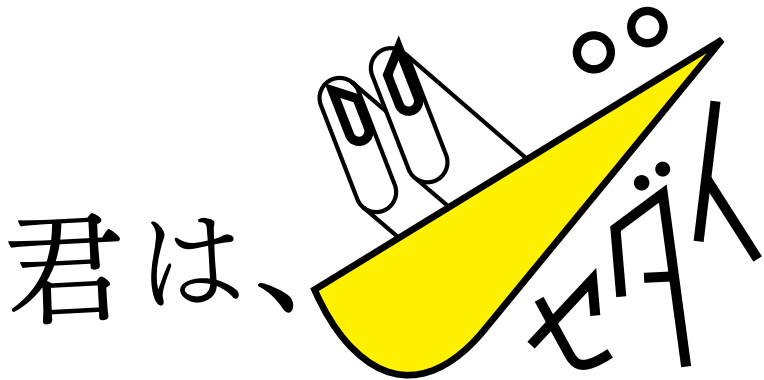
劇中で使用された楽曲を含む3作目のアルバム。ジミー・ジャム&テリー・ルイス、そしてモンテ・モアも脱退したため、新たにメンバーを補充し再始動。映画効果もあり前作以上にヒットするが、本作で解散。(1990年に再結成)

『Apollonia 6』

アポロニア6



ヒロインを演じるヴァニティがグループを脱退したため、急遽オーディションで選ばれたパトリシア・コストロをアポロニアに改名、アポロニア6として再始動。「Sex Shooter」はビルボード・ダンスR&Bチャートで7位を獲得するもアポロニアが去り、こちらも解散。



君は、

ジセダイ

何と闘うか？

<https://ji-sedai.jp>

「ジセダイ」は、20代以下の若者に向けた、**行動機会提案サイト**です。読む→考える→行動する。このサイクルを、困難な時代にあっても前向きに自分の人生を切り開いていこうとする次世代の人間に向けて提供し続けます。

メインコンテンツ
ジセダイイベント

著者に会える、同世代と話せるイベントを毎月開催中！ 行動機会提案サイトの真骨頂です！

ジセダイ総研

若手専門家による、事実に基いた、論点の明確な読み物を。「議論の始点」を供給するシンクタンク設立！

星海社新書試し読み

既刊・新刊を含む、すべての星海社新書が試し読み可能！

マーカー部分をクリックして、「ジセダイ」をチェック!!!

行動せよ!!!